

つながる。ひろがる。2023年は大佛次郎没後50年 市内外で開催される多彩な記念事業 上半期ラインナップ

大佛次郎（1897-1973）が亡くなってから50年を迎える今年、港の見える丘公園内の大佛次郎記念では、2023年4月から1年間にわたり記念事業を開催します。市内外の多様な施設・団体が多彩な事業を開催し、大佛次郎と大佛作品の魅力を再発見する機会を創出します。

大佛次郎記念館2023年度上半期主催事業

2023年度の大きな目玉となるのが、大佛次郎記念館編「南方ノート・戦中日記」（未知谷）の刊行です。

刊行に合わせ、8月26日より特別展「初公開&出版記念「南方ノート」と「戦後日記」—大佛次郎が見た戦中・戦後」を開催します。

同盟通信社の嘱託として南方（現シンガポール・マレーシア・インドネシア）を視察した際の日記「南方ノート」と、戦後1946年から1950年に書いて書かれた「戦後日記」を取り上げ、日本軍政下の南方と、GHQ占領下の日本で大佛次郎が何を見たのか、思ったのか、作家の視線と時代に迫る展示です。

また、4月22日から開催の「おさらぎじろう展—漫画「ぼくの伴侶 猫と大佛次郎物語」では、大佛次郎の半生を描くへげかもこ作の漫画『ぼくの伴侶 猫と大佛次郎物語』（少年画報社・2022年刊行）と共に、漫画世界と所蔵資料の間を行き来しながら、大佛次郎の足跡をたどります。



2023年度上半期連携事業

大佛次郎が約10年間仕事場としたホテルニューグランドの宿泊プランで幕を開け、図書館、文化施設、西洋館での記念展示、記念館を袴で楽しむ日帰り観光プラン、市民団体による大佛原作映画上映会、猫好きだった大佛にちなんだ特別企画「ねこ尽くし 名作落語のタベ」、そして日本画家鏑木清方が大佛次郎主宰誌「苦楽」に描いた作品を紹介する企画展と、幅広いラインナップが揃いました。

時代小説「鞍馬天狗」「赤穂浪士」、開化小説「霧笛」、ノンフィクション「パリ燃ゆ」、史伝「天皇の世紀」、戯曲、童話、エッセイなど、たびたび映像化され、今なお読み継がれる作品を遺した大佛次郎。

没後50年を機に、地域の企業、市民団体、市内外文化施設がつながり、横浜に生まれ横浜を愛し、鎌倉に長く暮らした文士の魅力を、多彩な事業で広く伝えていきます。



大佛次郎没後50年
記念キャラクター
ペンねこ(2代目)

のんびりした表情が可愛らしいペンねこ。しっぽは、大佛次郎が愛用していた万年筆のペン先のようになっています。

※情報掲載をよろしくお願ひします。取材の際は事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先

大佛次郎記念館【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】

館長:福富潤子 広報担当:大房奈央子 TEL:045-622-5002 Mail:osaragi@yaf.or.jp



大佛次郎没後 50 年記念事業 2023 年度上半期 ラインナップ

作家・大佛次郎（おさらぎじろう 1897-1973）が亡くなってから 50 年を迎え、大佛次郎記念館と各施設・団体が連携して、1 年間にわたり記念事業を実施します。

お問い合わせ 大佛次郎記念館 045-622-5002 <http://osaragi.yafjp.org>

*大佛次郎記念館の開館時間、休館日、入館料につきましては、裏面をご覧ください。
*予定を変更する場合がございます。最新の情報はホームページ等でご確認ください。



大佛次郎記念館 テーマ展示 1 2023/4/22(土)-8/20(日)

要入館料

おさらぎじろう展—漫画「ぼくの伴侶 猫と大佛次郎物語」より



作家大佛次郎（1897-1973）は、「鞍馬天狗」シリーズをはじめとする小説約 500 作品、エッセイや戯曲、童話など幅広いジャンルの作品を執筆しました。本展では、その仕事と暮らしを、へげかもこ作漫画『ぼくの伴侶 猫と大佛次郎物語』とともに紹介します。現実の大佛次郎と、『ぼくの伴侶』の大佛次郎。そして人生の〈伴侶〉である西子夫人や猫たち。漫画の世界と当館所蔵資料の間を行き来しながら、大佛次郎の足跡を辿ります。



©「ぼくの伴侶 猫と大佛次郎物語」へげかもこ/少年画報社

- 1 階ロビー パネル展示「ぼくの伴侶 猫と大佛次郎物語」一話まるごと展示
 - 2 階サロン 動画「鎌倉の家」上映（約 12 分）
 - 6/11(日) サロントーク「大佛次郎を漫画にするまで—猫と資料とストーリー—」
 - 14:00-15:15 漫画家・へげかもこ氏と、担当編集で掲載誌「ねこぼんち」の編集長 常山美栄子氏にお話を伺う。猫たっぷりのトークイベント
- 【参加費】無料（要観覧料・WEB 事前申込 4/22(土)- 定員 25 名）

【協力】少年画報社 ねこぼんち編集部

開催中 -2023 秋

大佛次郎記念館 愛蔵品コーナー「大佛次郎と長谷川路可—イタリヤに咲いた花」
大佛次郎と画家・長谷川路可の友情と、多彩な創作活動を行った路可の足跡を紹介



2 階閲覧室前

要入館料

ホテルニューグランド

通年 宿泊プラン「横浜を愛した昭和の文豪 大佛次郎 天狗の間 今昔散歩」

大佛次郎ゆかりの部屋「天狗の間」に泊まる宿泊プラン 18,000 円～（2 名様ご 1 室 1 名様料金、税込み・サービス料込み）
【問】ホテルニューグランド 宿泊予約係 045-681-1841（代）

横浜にぎわい座

4/4(火)-6/30(金)
10:00-21:00
(最終日のみ 17:00 まで)

展示「長谷川伸とふるさと横浜」

横浜・日ノ出町出身の作家長谷川伸の没後 60 年を記念し、その人物像や作品の魅力、大佛次郎との交流を紹介
休館日：4/19-20 5/17-18 6/21-22 【問】横浜にぎわい座 045-231-2525

2 階情報コーナー

観覧無料

特定非営利活動法人
横浜山手アーカイブス

4/13(木)-4/18(火)
9:30-17:00

展示「横浜山手に暮らす人々—昭和のはじめ」

大佛作品の舞台となった、昭和のはじめ頃の山手の街と人々の暮らしを写真パネルで紹介
【問】NPO 法人横浜山手アーカイブス info@bluff.yokohama

山手 111 番館ギャラリー

観覧無料

横浜ハイカラきもの館

4/15(土)-5/31(水)

袴で楽しむガーデンネックレス横浜 2023 薔薇と不思議ノ國のアリスの世界へ

横浜ハイカラきもの館で袴レンタル。ガーデンネックレス横浜 2023 と大佛次郎記念館を楽しむプラン
WEB 事前申込 3/22(水)～/1 日につき 20 名様まで 【問】横浜ハイカラきもの館 045-663-8108

10,000 円(税込)

横浜市中心図書館

4/18(火)-5/14(日)
火-金 9:30-20:30
土日祝 9:30-17:00

没後 50 年記念「大佛次郎展」

横浜ゆかりの作家大佛次郎没後 50 年を記念し、パネルと関連図書を展示
【問】横浜市中心図書館調査資料課 045-262-7336

3 階展示コーナー

観覧無料

5/27(土)

14:00-16:30

大佛次郎研究会 第 37 回 公開発表会 大佛次郎没後 50 年 大佛文学を継承する
田中優子（前法政大学総長）記念講演「大佛次郎の時代小説に見る歴史観」
大上朝美（元朝日新聞記者）「大佛次郎賞の 50 年」

神奈川近代文学館ホール
当日先着 200 名
資料代 500 円

【主催】大佛次郎研究会
【共催】大佛次郎記念館

6/3(土)

14:00-15:40

大佛次郎賞受賞記念講演会 星野博美「町工場から見た戦争の日常」
第 49 回大佛次郎賞受賞作『世界は五反田から始まった』（ゲンロン）の著者による講演会

横浜市南公会堂
全席自由 800 円
大佛次郎記念館観覧特典付き

【主催】朝日新聞社
大佛次郎記念館

7/4(火)-8/20(日)

10:00-16:30

大佛次郎記念館 子どもも大人もわくわくな夏休み お楽しみ企画
詳細は、決まり次第 WEB でお知らせします



大佛次郎記念館内

予約不要

要入館料

横浜市民ギャラリーあざみ野

7/ 中旬 -9/ 中旬(予定)

9:00-21:00

展示「没後 50 年 大佛次郎」

横浜市青葉区で、昭和の文豪・大佛次郎とその作品の紹介パネルとゆかりの品を展示
【問】横浜市民ギャラリーあざみ野 045-910-5656

2 階ラウンジ

観覧無料

横浜キネマ倶楽部

9/30(土) 13:00 開演

横浜キネマ倶楽部 上映会『帰郷』(97 分) **特典**

大佛次郎の原作『帰郷』を吉永小百合主演で映画化した文芸大作を上映
【問】横浜キネマ倶楽部 080-2554-8023

前売 1,000 円
当日 1,300 円

神奈川近代文学館ホール

6 月発売予定

横浜にぎわい座

9 月 10:00-21:00
(予定) (最終日のみ 17:00 まで)

展示「大佛次郎と落語」

大佛次郎が所蔵していた落語関係資料や、落語についてのエッセーなどを紹介 休館日：9/20-21

【問】横浜にぎわい座 045-231-2525

2 階情報コーナー

観覧無料

9/15(金) 19:00 開演

特別企画「猫尽くし 名作落語の夕べ」 **特典**

柳家さん喬、橘家文蔵、立川志の春、江戸家猫八

全席指定 3,200 円
7/1 発売

芸能ホール

大佛次郎記念館 特別展

2023/8/26(土)-12/10(日)

初公開&出版記念「南方ノート」と「戦後日記」—大佛次郎が見た戦中・戦後



要入館料

2023 年 7 月刊行予定の新著『南方ノート・戦後日記』の出版を記念する展覧会。1943 年 11 月から 3 カ月間にわたり、同盟通信社の囑託として南方（現シンガポール・マレーシア・インドネシアなど）を視察した際の日記「南方ノート」と、戦後 1946 年から 1950 年にかけて書かれた「戦後日記」を取り上げます。これまで未公開だった二つの日記群を通して、日本軍政下の南方、GHQ 占領下の日本で大佛次郎が何を見、思ったのか、作家の視線と時代にせまります。

鎌倉市鎌木清方記念美術館

7/1(土)-9/10(日) 企画展「大佛次郎没後 50 年 季節の彩り—清方が描いた美人挿絵—」



雑誌『苦楽』と表紙絵の下絵を中心に、季節の風情豊かな作品を展示

休館日：月曜日(7/17 は開館) 7/18 8/7-9 【前期】7/1-8/6 【後期】8/10-9/10
観覧料 300 円 小中学生無料 【問】鎌倉市鎌木清方記念美術館 0467-23-6405

特典

【連携事業】もっと知りたい！日本画家・鎌木清方と作家・大佛次郎

鎌木清方記念美術館（期間 7/1-10/18）、大佛次郎記念館（期間 7/1-12/10）で、該当期間の半券提示で 50 円割引

① 7/9(日) ② 9/2(土) 9:15-12:30 鎌木清方と大佛次郎のゆかりの地を巡る鎌倉ガイドツアー

【参加費】1,000 円（大佛次郎記念館観覧特典付）①電話予約 6/1- ②WEB 予約 7/1- 定員各回 20 名

③ 10/7(土) 10:00-12:00 大人の感想画体験「日本画材を使って絵を描いてみよう」@ 大佛次郎記念館

【参加費】1,200 円（WEB 事前申込 8/1- 定員 12 名）



【問】① 鎌倉市鎌木清方記念美術館 0467-23-6405
②③ 大佛次郎記念館 045-622-5002



【協賛】株式会社浦辺設計/大佛次郎研究会/株式会社ボンパドゥル/横浜高速鉄道株式会社/横浜市金属建具工事協同組合

特典

対象事業の半券提示で、大佛次郎記念館観覧料が 50 円割引

2023 秋 -2024 秋

大佛次郎記念館 愛蔵品コーナー「大佛次郎が創刊した雑誌『苦楽』をめぐる画家たち」
「苦楽」は、戦後まもなく約3年間にわたり刊行され、日本文化の良さを伝えようとした雑誌

2階閲覧室前 要入館料

11/3(金・祝)
14:00-15:30(予定)

大佛次郎記念館 中高生ビブリオバトル
人を通して本を知る 本を通して人を知る 書評ゲーム

対象：中学1年～高校3年
参加費無料・事前申込制

2階サロン

【参加協力】
浅野中学校高等学校図書研究部
カリタス女子中学校高等学校

12/2(土)
14:00-15:30(予定)

大佛次郎記念館 第10回ミニ・ビブリオバトル
大好きな本をもって、大佛次郎記念館にあつまれ!!

対象：小学4年～6年
参加費無料・事前申込制

2階サロン

大佛次郎記念館 テーマ展示2 2023/12/16(土)-2024/4/14(日)「大佛次郎と木村荘八」

大佛作品の挿画を手がけた画家・木村荘八と大佛次郎は、互いに作品を高め合う名コンビ。愛猫家同士でもあったふたりの交流を紹介

要入館料

開館時間 10:00～17:30(最終入館17:00) 観覧料 一般 200円／中学生以下無料／20名以上の団体は150円

10-3月 10:00～17:00(最終入館16:30)

*横浜市内在住の65歳以上の方は100円(演とカード等をご提示ください)

*障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料

*毎月23日(市民の読書の日)と第2、第4土曜日は高校生無料

休館日 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)

年末年始、展示替え期間(*5/1は開館)

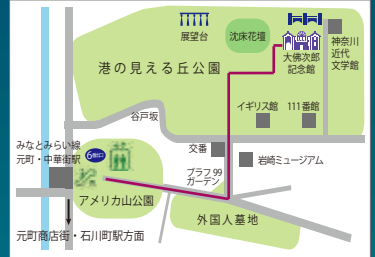
●みなとみらい線(東急東横線直通)で:元町・中華街駅下車
(元町方面改札)／6番出口(駅直結のエレベーター・エスカレーターを利用、アメリカ山公園経由)／5番出口(谷戸坂経由)いずれも徒歩8分

●JR線根岸線で:石川町駅下車(元町口)徒歩20分

●神奈川中央交通バス11系統
(桜木町駅～保土ヶ谷駅東口)

●市営バス20系統(山手駅～桜木町駅)

●観光スポット周遊バス「あかいくつ」
いずれも港の見える丘公園前で下車、徒歩2分



おさらぎじろう きねんかん
大佛次郎記念館 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
The Osaragi Jiro Memorial Museum

〒231-0862 横浜市中区山手町113(港の見える丘公園内)
TEL:045-622-5002 FAX:045-622-5071 <http://osaragi.yafjp.org>

大佛次郎 未知谷刊
南方ノート・戦後日記
大佛次郎記念館 編

没後50年記念
今夏刊行予定!
未公開資料 初の活字化

戦中(昭和17、18年)に南方視察に赴いた際の6冊の記録ノート、ならびに『敗戦日記』に続く戦後の日記群を翻刻・解題(斎藤理生・河西晃祐)価格未定。

1943年 シンガポールにて佐藤春夫・武田麟太郎と共に

大佛次郎没後50年／小津安二郎生誕120年

大佛次郎 宗方姉妹

満洲から引き揚げてきた美しき姉妹を中心に、戦後日本で生きる人々の奮闘と葛藤を描く。小津安二郎監督の映画原作でも知られる傑作長篇

解説・與那覇潤

中公文庫 定価1320円(10%税込)
ISBN:978-4-12-207337-1 <https://www.chuko.co.jp/>

スイッチョねこ
絵・朝倉摂／文・大佛次郎

大佛次郎が「一代の傑作」と語る抒情あふれる文章を、朝倉摂がやわらかく、みずみずしいタッチで描きだす。愛猫家で知られる2人による心あたたまる名作絵本。
A4判／40頁／上製／定価1,980円

青幻舎 京都市中京区梅忠町9-1
Tel 075 (252) 6766 Fax 075 (252) 6770
<http://www.seigensha.com> <税込>

青幻舎HP Amazon

日本一の猫先生の秘蔵コレクションを満載!

《私には生きた猫でなく玩具の猫でも心を柔らげてくれる》と記した大佛次郎。蒐集した300点にもぼる猫の人物や自身が撮影した写真から厳選し、心温まるエッセイとともに収録しました。

500匹と暮らした文豪
大佛次郎と猫

監修 大佛次郎記念館
定価:本体1,500円+税
A5判/オールカラー/112ページ

小学館 <https://www.shogakukan.co.jp>

ISBN 978-4-09-388535-5

神奈川新聞の自費出版が新しくなりました。
「HERITAGE」シリーズ 創刊!
ワンパッケージで
低コストを実現

詩歌集は新書判、写真集は四六判。ともに並製本、オンデマンド少部数印刷でお作りします。詳細はお尋ねください。

HERITAGE [ヘリテージ]: かけがえのない価値のあるもの。継承物、文化的遺産

神奈川新聞社 出版メディア部
〒231-8445 神奈川県横浜市中区太田町2-23
TEL:045(227)0745 FAX:045(227)0785
※お問い合わせは平日10～18時 sh-eigo@kanagawa-np.co.jp

宿泊プラン
横浜を愛した昭和の文豪・大佛次郎
天狗の間 今昔散歩

大佛次郎が執筆のために約10年滞在した客室に宿泊するプランです

●1泊朝食付 □料金
●大佛次郎ゆかりのカクテル(お一人様1杯) 2名様1室 ¥18,000～
●大佛次郎記念館入場券 ほか特典付き ※1名様料金 税金・サービス料込

HOTEL NEW GRAND [ご予約] 045-681-1841 (代) 宿泊予約係